

愛媛電友会会報

第 6 号
 発 行 人 保
 丹生谷 所
 松山市二番町
 4丁目2番10
 電気通信共済会
 四国支部内

目 次

○ 電友会総会ご案内	一
○ 恩給年金の改訂	一
○ 電柱敷地折衝中の三日	二
○ 香川亨君の死を悼む	三
○ 計 報	四
○ おねがい	四
○ 編集後記	四

第六回愛媛電友会総会 開催のご案内

編集部

例年、十月の下旬に開催されておりましたものですが、今年は会場その他の都合で、次のように数日おくられて開かれる予定になっております。

なお当電友会は創立以来愛媛通信部に、庶務会計の実務は何れとなくお世話を願っていたものでございますが、何時までもこの儘ではあいすまないこととございますので、この七月から何とか当会で、その実務をとることにいたしまして引継を行ないました。総会の開催につきましても、当会自体で取運ぶことといたしまして一応次ぎのような計画を立てております。

日時 本年十一月二日土曜日
 会場 松山電信電話会館
 （清水町、電停松山商大前）
 （下車一〇〇米）

開会 前十時から十一時半
 懇談会（宴会）後零時から
 受付、会場ご案内、会費を頂

くこと、その他の雑用は幹事がそれぞれ分担して取運ぶことといたしとうございますから、何分よろしくお願い申し上げます。

恩給年金が改訂されました

編集部

先般赤刈さんがお仕事の都合で上京されましたおついでに、電電千代田会の方へも顔を出して戴きました。その節にお持ち帰り頂きました会報の中から、肝甚な点だけを取り纏めましたのが次ぎのとおりでございます。本年十月一日から左のように私等の恩給年金が改訂になります。

- 1 恩給関係の人
 年令 昨年引上 今回引上
 六五才 一〇% 二〇%
 未満者 一〇% 二〇%
 自六五才 二〇% 二八、五%
 至七〇才 二〇% 二八、五%
 （六五才未満の扶助料を含む）
 七〇才 二八、五% 三五%
 以上 二八、五% 三五%
 2 年金関係の人
 昨年引上 今回引上

一〇% 二〇%

3、年金関係の人で昭和三十一年七月以前から引続いていた人の引上率は左のようになりまし。

(イ) 六十五才未満

恩給法期間年金期間年金額の算の引上率の引上率定

二〇% 二〇% 恩給、年

(ロ) 六十五才以上七金それぞれ十才未満と六十の期間の給五才未満の扶助付率にそれ

料 ぞれの引上

恩給法期間年金期間率を乗じての引上率の引上率得た額の合

二八、五% 二〇% 算額

い七〇才以上

恩給法期間年金期間の引上率の引上率

三五% 二〇%

4 外地在勤の人の勤続年数の算定

従来満洲電々、華北電々等在勤していた人については年金の最短年限に達するまでの期間だけ算入していたものを今回左のように全部通算されることになりました。

例えば 満洲電々採用の人で次ぎのような経歴の人は

満洲電々採用 2年 7年 15年
A 当官 恩給公務員
B 当官 恩給公務員

(317.1)

(イ) 従来取扱

17年-15年=2年

(ロ) この2年不足分をBの中から

に充て)

(イ) 今回の改正

15年+7年=22年

この改正は44年1月以降に適用されます。

5 今後の年金改定の方

昭和四十一年の法律改正によりスライド規定が公共法に挿入

されるところに、社会制度審議会からの意見もあって、昨年七月内閣に公的年金制度連絡調整

会議が設置され、現在の改定方式等を抜本的に改正して、生活

水準、給与、物価等とバランスのとれた年金制度とするよう鋭

意検討中であるが、スライドの方法、財源負担の問題等相当難

問題があることと未だ結論を得ていないが、本年一林にその大綱をまとめることを一応の目安としていとのこととごさい

電柱敷地折衝中の三日

松山 山崎 義巳

五月△△日

阿南報話局から借上げの自動車で、北西、南東の二班に別れ

それぞれの方角に出発。

南東班の私等は神崎製紙の社宅とその附近から海岸線一帯の

実測がなされた訳であるが、初

めてのことと若い社員におくれ

ないように歩くことで仲々楽で

ないなと思われた。

それよりも地理不案内のそこ

ろへ畑や田の畦等通り、又元の

地点へ引き返すなど、はて自分

は何処からどう来たのか、判り

かねる次第である。それでも宅

地なら門札を見てメモして置き

たい——何か目印をと見たり書

いたりしたいが仲々出来そうに

ない。走ってついて行くのが精

一杯のようである。この後自分

一人で来られるだろうか——不安な初日の日程が終った。

五月〇〇日

今日からはKさんについて行って貰って現地の再確認に出かける。私には初めての仕事ということから実測の時だけでは現地の確認は無理だとのことから特にもう一度土地の人Kさんについて貰って再確認させて頂いた訳である。バスの停留所や、基本になる電力柱の番号や、そのあたりの目印になる看板や宮やお寺など線路図にメモして置く。阿南小学校の前の学用品店の生垣の中の杭を確認していると丁度お婆さんが店に出ておられるので、声をかけ来意を告げると、お婆さんも抗の処へ来て下さり、皆さんのお役に立つことならやって戴きましよう。長男は徳島で開業医をしておりますし、娘は年に一度帰る位のものです。この家も私一代だけのものではしょう。今すぐお金を頂くのですか——と上品な古稀を過ぎたかと思える嬪で一人暮らしの淋しさが言葉のふしぶしに伺

えるのでした。承諾書第一号——南無大慈大悲観世音菩薩と心の中で称え、有難うございますと感情をこめて謝辞を述べ次の地点へと辞去したものでした。

六月×日

私 ご免下さい。岡本さんのお家はこちらでしょうか？
 嬬 そうですが、どちらさんかな？

私 電話局の関係の者ですが津の峯の病院の前の田はお宅の田でしょうか？
 嬬 そうです。

私 その田に電灯線の柱があるのですが——その柱にひかえ線を張らして頂きたいのですが——
 嬬 若い者を呼びましょう一寸

「嫁さんが裏から出てくる」
 嫁 あの電灯線には右の方に線が張ってありますよ。

私 あの柱に電話線を張らして貰ってそのひかえ線を電灯線のひかえ線の処へ張らして貰いたいです。

嫁 お婆ちやん電灯線の針金

とおんなじ処なら、えーじやろな

嬬 兵さんもえー云うじやろけどな

嫁 急ぐんですか
 私 それでは念のためご主人にお話し置き下さい。また明日でもお伺いいたしますから。

「おりからこうばしい香りがするので思はず庭の奥へ二三歩進むとそこにお婆さんが麦の粉を曳いている。」

私 こうばしい香ですな
 嬬 時のもんでな。毎年こうして曳いているでな

私 お婆さんそれ少し頂けませんか
 嬬 どうしますのじや

私 喰べるんです。スーパーにも売ってますが、味がちがうんです。子供の時に喰べていたのとは味がちがいます。この香りは昔のそのままでのものです。欲しうな

嬬 ほんなら袋に入れて上げましょう。
 私 ありがとうございます。

なんぼかお金とって下さいな

嬬 これぼっち——どうぞ持つて帰んなさい。

私 困りましたな——それでも欲しいな——ねだったものだし、それならお言葉に甘えて——頂戴いたします。

ありがとうございます。その上とんだおねだりをいたしまして相済みませんでした。

(終り)

香川亨君の死を悼む

電友会会員 泉節太郎

去る六月十二日、突然香川亨君の訃に接しました。

あまりに唐突であつたので、はじめわたしは自分の耳を疑つたほどでしたが、やがてその真実なることを確め得て、呆然とした次第でした。ここに

謹んで哀悼の意を表します。

香川君は、わたしが、四国電気通信局監査部勤務の頃、約四年間、机を並べて仕事をともにしたものでした。その間、君は持ち前の明晰な頭脳と誠実さと

をもつて、誠心誠意ことにあたり、公正をモットーとする監査部の仕事が非常に順調に運んだことは、まことに有難く、わたしの脳裡に強い印象を残しています。

その後君は、新居浜電報電話局長、松山搬送通信部長を経て高松電話局長を最後に、昨年二月、停年を一年前にして、公社を退職せられたのでした。これは恐らく、あの困難な高松電話局の、市内市外に亘る大拡張工事の切替を無事完了することができたので、それを置土産にいい花道を見つけられたものと思います。

その後君は悠遊自適、しかし健康には非常に留意せられ、昨年十月発行の、愛媛電友会会報特集号には「一万歩運動」をはじめたとの君の記事に接し、ますます健康の模様を想察、喜んでいたのでしたが、今突如としてこの訃報に接し、文字通り愕然と致しました。

その後様子を聞いてみると、逝去直前迄、健康は平素と全く変りはなく、死因も心臓の発作

とかで、「突如」というのも宜なる哉、と思つた次第でした。会友諸君とともに、ここに謹んで君の御冥福をお祈り申し上げます。

謹告

会員中、次の方々には、惜しくも他界されました。ここに深く哀悼の意を表しますとともに故人のご冥福をお祈り申し上げます。
なお、会から、それぞれご遺族様に対し、弔問いたしました。

故 一色潔一様 四三三ご逝去
故 香川 享様 四三六二〃
故 中村雄三郎様 四三六二五〃
故 大平福太郎様 四三七三〃

とどむべきものとはなしには
はかなくも 散る花ごとくに
たぐふ心か
(古今和歌集から)

おねがい

電電公社(四国通信局その他公社機関)から公社事務応援者を求められる場合に備えるため、あるいは、会員のご家族の就職あつせん、ご結婚などについて必要な場合のため何等かの調書が必要だということ近く当会作成の調査用紙を会員あてご送付いたします。

つきましては、主旨ご了知のうえ二枚とも同じようになるべく詳細にご記入せられ指定日までにご返送くださいますよう、おねがい申しあげます。

指定日 八月末日まで
送付先 会報発行所

編集後記

むし暑い日が続きます。皆さんお障りございませんか。時候の関係でしょうか、最近会員の方がお亡くなりになる数が増えて来ましたことは何とも言いようのない悲しさでございす。合掌頓首いたしましてご冥福をお祈りいたすのみでございす。

年金の改訂が行われます。六十五才以上の方々にはある程度よくなることと思われす。連合会が出来て、このような情報貰えるようになったことを嬉しく思います。赤列さんのご足労を有難くお礼を申しあげます。

炎天に汗したら木蔭に憩いまししょう。昼働いた人は夜は眠りまししょう。己を虚うして、時の流に逆わらず、人に逆らわず、自然に親しみ、陋居に安住したいものです。

総会は十一月の二日の予定でございす。みんな、みんな元氣でお会い致しましょう。終

